



きずな

4部リーグKブロック

Kブロックは、Rugart FC、WEST SHIROISHI、cereza、若葉ボンバーズ、琴似、太平FC、One EightB、もみじ台西の8チームで。全試合数112中、引分20、1点差29試合(全体の44%)と拮抗した戦いが見られた中で、1位は太平FC、11勝1分2敗勝点34、2位琴似、9勝3分2敗勝点30、3位WEST SHIROISHI9勝2分3敗勝点29、4位RugartFC6勝2分6敗勝点20、5位One EightB5勝4分5敗勝点19、6位cereza4勝3分7敗勝点15、7位若葉ボンバーズ3勝2分9敗勝11、8位もみじ台西0勝1分13敗勝点1の成績でした。



1位となった太平FC

上位3チームは共に長身で能力が高くキック力のあるGKを中心とした固い守備から早い切替で人数を掛けての攻撃等、チームとしてまとまりのあるプレーが多く見られました。

1位となった太平FCは1順位6勝1敗で1位となり全日少プレーオフ進出を果たし、2順位も5勝1分1敗で、総得点48(1試合当たり3.4点)、失点12(1試合当たり0.9点)、2位琴似、3位WEST SHIROISHIも安定した試合内容あった。2位の琴似は総得点40(1試合当たり2.9点)、失点12(1試合あたり0.9点)で2敗した試合が1点差の惜敗で3位、3位のWEST SHIROISHIは総得点29(1試合当たり2.1)、失点5(1試合当たり0.7点)最小失点の成績で、この上位3チームの戦いぶりが強く印象に残りました。



石狩スポーツ広場で2ピッチでの試合風景

10月1日の最終日の順位トーナメントは、リーグ戦から、5、6位に変動があった以外は、順当な順位で終了しました。今年度もコロナ感染により予定した日程で数チームが参加出来ないこともありましたが、事前に各チームから全日程での参加確認を取り、都度参加各チームの協力を得て、無事全日程を消化し、円滑にリーグ戦を運営することが出来ました。また、リーグ戦時リーグ戦終了後のピッチを使ってのU-11、午前中に近接するピッチで、U-8~10の交流試合を6日間、Kブロック参加以外のチームを含め延べ88チームから多くの選手が参加し、充実した活動を行えました。

10月1日の最終日、全試合終了後に全選手と指導者及び保護者を集め終了式を行い全日程を終え、解散しました。



全日程終了後の終了式の様子